

子どもに合う環境づくり

戸塚地域療育センターのご利用にあたって
ソーシャルワーカー



集団生活が、安心できる楽しい場となるよう
無理のない環境づくりをしましょう
私たちがサポートします！

1. 集団を選ぶときの悩み

よくいただくご質問…

まわりの子と比べると
ゆっくりペースだけど、
大丈夫かしら？

園は何をポイント
に選ばばいいの？

発達が遅れていたら
すぐ専門機関の集団
に通った方がいいの？

幼稚園にいつ頃
相談に行けばいい？

園の先生には
どう伝える？

ぴーす東戸塚って？
通った方がいいの？

3年保育で、早くから
たくさん刺激を受けると
言葉は伸びるの？



民間児童デイって何？
行った方がいい？
どう選んだらいいの？

全体に共通するところ

まわりの子と比べると
ゆっくりペースだけど
大丈夫かしら

園は何をポイント

発達が遅れていたら

すぐ専門機関の集団

の方がいいの？

どのように選んだらいい？

園にどんなことを伝えればいい？

何を大切に考えるべき？

3年保育

たくさん刺激を

言葉は伸びるの？



何？

いい？

どう選んだらいいの？

2. それぞれの集団のちがい

	幼稚園	保育所	児童発達支援 (療育施設)
種別	学校 (文部科学省)	児童福祉施設 (厚生労働省・児童福祉法)	障害児通所支援サービス (厚生労働省・児童福祉法) 通園・ふたば・ぴーす東戸塚 その他の民間事業所
対象	幼児 (3歳児～)	保育に欠ける児童 (0歳児～) ※保育要件が必要	心身の発達に遅れや障害のある児童
職員	幼稚園教諭 (教員免許) 1クラスあたり35人以下	保育士 (国家資格) 【0歳児】 子ども 3人につき1名 【1-2歳児】 子ども 6人につき1名 【3歳児】 子ども20人につき1名 【4歳児】 子ども30人につき1名	保育士・指導員 (他専門職種) 子ども 3～5人につき職員1名
内容	就学前の教育の場 横浜市内は全て私立 園によって教育方針や内容、 職員体制は園によって異なる	子育てを補完する場(生活に密着) 認可保育所は公立と民間がある 民間認可保育所は保育方針、保育 内容は、園によって異なる	専門療育の場 一人ひとりの障害特性に合わせた 個別支援計画を作成 障害者通所給付受給者証 の申請が必要



障害がある子どもに対する
障害福祉サービス

3. 環境づくりとして

- お子さんを環境に合わせますか？それとも環境をお子さんに合わせますか？
 - 一般的な関わりだけではうまくいかないことも
 - 苦手な部分ではなく、**強みに注目した関わり**を
 - お子さんに合った環境をつくっていきましょう

- お子さんの発達に目を向けてみましょう
 - 発達のペース（ゆっくりさ） バランス（凸凹）

- 学びやすい環境をつくる
 - 発達段階に合っているか
 - 家庭での子育てに役立つ内容であること
 - 無理のないスケジュール

■ わかる、できる、楽しい経験が生活を豊かに

➤ 発達を促進するには

➤ 心身ともに安定した生活こそが

➤ 自立（自律）に向け、大切な土台です

■ 療育的な考え方を学び、取り入れましょう

4. 「療育」とは？

- お子さんのもっている力を発揮しやすくなるように
**手助けする関わり方の工夫を学び、
ご家庭での子育てに取り入れること**です
- 専門家のみが行う特別なものではありません
- お子さんをありのまま受けとめ、特性に合わせることで、
暮らしやすい生活の場を作り、成長を促しましょう

5. 当センターの療育

- 数か月おきに個別で相談をすることも、集団形式で回数多く通うことも、どちらも療育に含まれます
- **毎回、親子で通っていただくことを大切にしています**
- お子さんへのよりよい関わり方を一緒に探しながら、**親御さんに学びの機会を提供し**、子育てに活かしていただけるように支援しています

6. 療育センターの集団療育(年単位のもの)

■ 通 園

- 知的な発達に遅れや偏りがあるお子さん
- 週3、週5日のいずれか
- 療育の場が、生活の主体

■ ふ た ば

- 知的な発達に遅れや偏りがあるお子さん
- 週1 (午前中)
- 幼稚園や保育所が、生活の主体

■ ぴーす東戸塚

- 知的な発達に遅れのないタイプの、発達障害
- 週1 (午前中)
- 幼稚園や保育所が、生活の主体

7. まとめ



- 通い始める時期やプログラムは人それぞれ無理のないスケジュールを

心身ともに安定した生活が
自立（自律）の土台です

- 民間の児童発達支援事業所を利用の場合も、考え方は同じです
- ご家族や先生などまわりの人に理解を求め子どもにあう環境づくりに協力を得ましょう